

# 伊藤久二郎の夢の造形化の世界

2022.9.10 SAT \ 11.27 SUN

2022.9.10 SAT \ 11.27 SUN

休館日 = 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

会場 = 東御市梅野記念絵画館  
大展示室

開館時間 = 9時30分 - 17時(最終入場16時30分)

入館料 = 一般 800円(団体 700円)

※中学生以下無料 ※団体割引は15名様以上から  
※身障者割引、学校利用減免、減額制度あり



窓B



# 夢の造形化 伊藤久三郎

## の世界

日本の前衛洋画の先駆者として知られる伊藤久三郎の画業を紹介します。

京都に生まれた伊藤久三郎は、京都市立絵画専門学校（現在の京都市立芸術大学）で日本画を学んだ後に洋画を志して上京します。そして戦前の二科会の前衛傾向の作家を集めた九室会で、シュールレアリスムの影響を強く受けた作品を発表し、吉原治良や山口長男と並ぶ前衛絵画のホープとして活躍しました。

しかし、戦時中に故郷の京都に戻ると以後は二度と京都を出ることなく、戦後は行動美術協会と関連する展覧会にのみ抽象絵画を出品し、二人静かに自己の芸術を深化させ71歳の生涯を終えました。伊藤久三郎は晩年の制作について、枕元にスケッチブックを置いておき、朝目覚めると見た夢のイメージを描きとめて作品のモチーフにしたと語っています。

京都に生まれ最初に日本画を学んだこの作家は、西洋から流入する前衛絵画をそのまま鵜呑みにすることはなく、日本的な美意識によって消化し、さらに熟考された絵画理論と優れた色彩感覚によって、晩年は誰も描いたことのない独自の画境に至りました。

本展は、伊藤久三郎の初期から晩年までの画業を通覧しますが、最後にたどり着いた晩年10余年の作品を中心に展示します。その爽やかな抒情がただよう清冽で透明感のある独創的な画風を楽しんでいただけだと思います。



木立



鳥と木



アトラス



牛の尻

### 天野一夫氏クロストーク

9/10[土] 13:00~

講師：天野一夫

聞き手：大竹永明(梅野記念絵画館館長)

天野一夫  
美術評論家

1959年埼玉県生まれ。学習院大学大学院博士前期課程修了。

O美術館学芸員、京都造形芸術大学教授、豊田市美術館チーフキュレーターを歴任。

主な企画展に「大野徹高展「物質」から華へ」(O美術館、1989年)、「三上誠展 自己凝視から「宇宙」へ」(O美術館、1990年)、「ART IN JAPANESEQUE」(O美術館、1993年)、「伊藤久三郎-透明なる叙情と幻想」展(O美術館、1995年)、「「森」としての絵画 - 「絵」のなかで考える」展(岡崎市美術博物館、2007年)、「近代の東アジアイメージ展(豊田市美術館、2009年)」、「変成態—リアルな現代の物質性」展(gallery aM、2009~10年)などがある。

www.umenokinen.com

同時  
開催

東信濃工芸作家展

9/10[土]-10/16[日]

堀田光彦展 Empathy

10/29[土]-11/27[日]

■鉄道等の場合

しなの鉄道・田中駅から  
タクシーで15分。

■お車の場合

上信越道・東部湯の丸IC  
から約20分。Google Map▶



東御市梅野記念絵画館・ふれあい館

〒389-0406 長野県東御市八重原935-1 芸術むら公園

TEL：0268-61-6161 FAX：0268-61-6162

